

平成二十二年度山陰歴史館特別展

素鳳展

ひな祭りとお人形



享保雛 江戸時代後期

会期 平成23年
2月11日(金・祝)～3月21日(月・祝)

平成23年

地域の歴史を 未来につなぐ

米子市立山陰歴史館



〒683-0822 鳥取県米子市中町20

TEL 0859-22-7161

開館時間 午前9時30分～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

とっとり県民カレッジ連携講座

休館日 火曜日

観覧料 一般 500円(400円)、高校・大学生 300円(200円) / ()内は前売り及び15人以上の団体料金

◆次の方は観覧無料です:中学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方・要介護者及びその介護者

【前売券取扱場所】山陰歴史館、福市考古資料館 他

主催 米子市立山陰歴史館

素鳳展

ひな祭りとお人形

坂口真佐子さん（さかぐちまさこ/1908～1997）が半生をかけて蒐集した素鳳コレクション。雛人形や御所人形をはじめとする日本人形、西洋人形、江戸時代からの緋・更紗・筒描の染織品、櫛・簪・笄などの装身具、調度品など多岐にわたり、約 2,000 点で構成されています。

真佐子さんは「貴重な日本の伝統文化を後世に伝えていきたい」という思いから自身の雅号である「素鳳」を館名とし、蒐集したコレクションの展示公開と保存を目的として昭和43(1968)年に私設展示場「素鳳館」を設立されました。平成12(2000)年には米子市にコレクションを寄贈され、その後、山陰歴史館に移管しました。毎年春には、ひな祭りの季節によせてコレクションの特別公開を行っています。

本展では、江戸時代から大正期の華やかで多様なひな人形や御殿飾りを中心に、生活の中に彩りを添えたお人形など約 80 組を紹介します。

だし 山車

明治時代／高さ：164cm

北陸の豪農旧蔵と伝えられる。祭りの雰囲気にあふれる衣装人形7体の上に連なる笠には、宝尽くしの細工物や美しい天女たちが配置されています。



ギャラリートーク

展示会のみどころをわかりやすく解説します。
申込不要です。お気軽にお出かけください。

2月11日(金)、12日(土)、19日(土)、26日(土)

3月5日(土)、12日(土)、19日(土)

●各日午後2時～

■交通案内：

- ・JR米子駅から徒歩約20分
- ・米子駅前バスターミナルから各方面行きのバスにご乗車の場合は旧市役所前バス停で下車すぐ。
(※松江線のバスを除きます。)
- ・米子空港からタクシー20分
- ・山陰道米子南インターチェンジから市街地方面へ約10分
- ・市役所所有料駐車場（2時間まで無料）をご利用ください。
(※駐車券を受付までお持ちください。)



米子市立山陰歴史館

〒683-0822 鳥取県米子市中町20
TEL 0859-22-7161/FAX 0859-22-7160
<http://www.yonagoi-shi-rekishikan.com/>
E-mail cbsever@etude.ocn.ne.jp